

セブン&アイグループを知る

企業プロフィール
数字で見るセブン&アイグループ

マーケット環境を知る

国内マクロ環境
国内小売業の動向
米国マクロ環境及び小売業の動向
グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)
世界の小売業/売上高ランキング
/時価総額ランキング

セブン&アイグループの業績と戦略を理解する

グループ重点戦略 ~「食」の強み~
連結財務KPI
キャピタル・リアロケーションプラン/株主還元
連結業績の推移
連結業績ハイライト
セグメント別業績の推移
財務状況
主要事業会社の概要
国内コンビニエンスストア事業
海外コンビニエンスストア事業
スーパーストア事業
百貨店・専門店事業
金融関連事業

株式情報を見る

株式情報

セブン&アイグループの歴史を見る

沿革

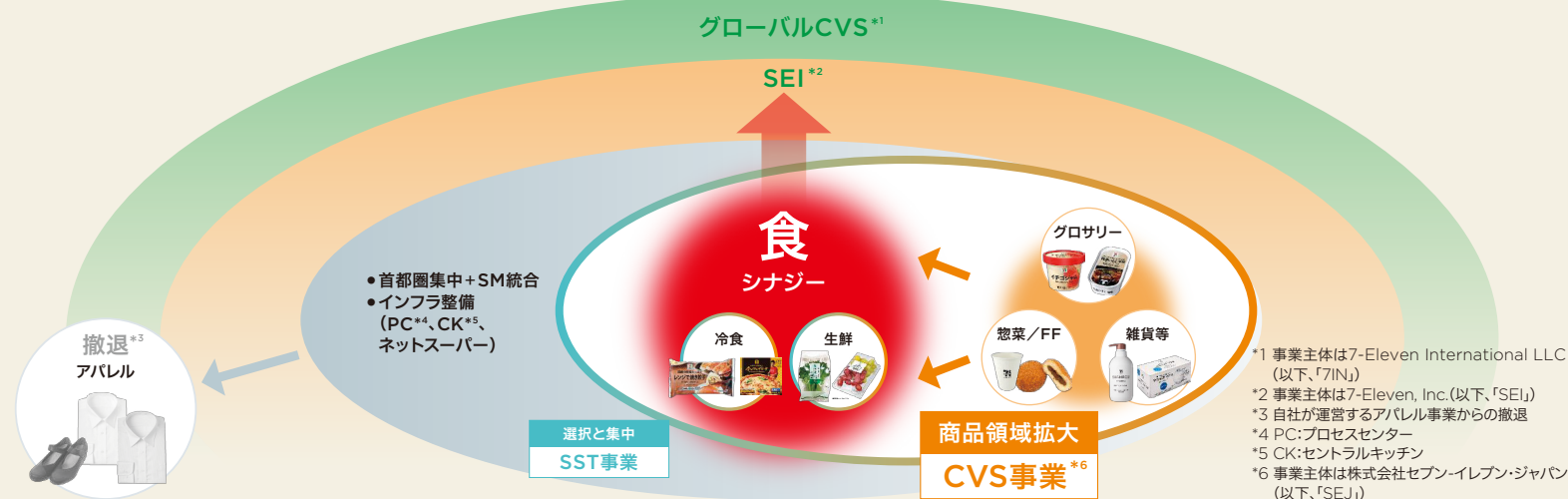
目次

- P16 グループ重点戦略 ~「食」の強み~
- P17 連結財務KPI
- P19 キャピタル・リアロケーションプラン/株主還元
- P20 連結業績の推移
- P21 連結業績ハイライト
- P22 セグメント別業績の推移
- P25 財務状況
- P26 主要事業会社の概要
- P27 国内コンビニエンスストア事業
- P36 海外コンビニエンスストア事業
- P46 スーパーストア事業
- P54 百貨店・専門店事業
- P59 金融関連事業

チャプターサマリー

中期経営計画

グループ重点戦略 ~「食」を軸とした国内外コンビニエンスストア事業の成長戦略~



*1 事業主体は7-Eleven International LLC (以下、「7IN」)
*2 事業主体は7-Eleven, Inc.(以下、「SEI」)
*3 自社が運営するアパレル事業からの撤退
*4 PC:プロセスセンター
*5 CK:セントラルキッチン
*6 事業主体は株式会社セブン-イレブン・ジャパン (以下、「SEJ」)

「食」の強みが当社グループにおける国内外CVS事業の成長を支える競争力の源泉

進捗

連結財務KPI達成に向けた進捗状況

	21年度実績	22年度期首計画	22年度実績	評価
EBITDA	7,514億円	8,823億円	9,953億円	◎
営業CF(除く金融)	6,308億円	7,605億円	8,328億円	◎
フリーCF水準(除く金融)	2,795億円	2,954億円	4,740億円	◎
ROE	7.5%	7.9%	8.7%	◎
ROIC(除く金融)	4.8%	4.8%	5.2%	◎
Debt/EBITDA倍率	3.9倍	2.9倍	3.0倍	○*
EPS	238円	271円	318円	◎

*期首計画では北米CVS事業の有利子負債の一部を期限前返済する計画でしたが、米国金利状況を鑑み契約期限通りの返済を実施。

目標

2030年 目指すグループ像	2025年度 連結財務KPI	
セブン-イレブン事業を核としたグローバル成長戦略と、テクノロジーの積極活用を通じて流通革新を主導する、「食」を中心とした世界トップクラスのリテールグループ	EBITDA	1.1兆円以上
	ROE	11.5%以上
	EPS成長率 (5年CAGR)	18%以上

セブン&アイグループを知る

企業プロフィール
数字で見るセブン&アイグループ

マーケット環境を知る

国内マクロ環境
国内小売業の動向
米国マクロ環境及び小売業の動向
グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)
世界の小売業/売上高ランキング
/時価総額ランキング

セブン&アイグループの業績と戦略を理解する

▶ グループ重点戦略 ~「食」の強み~

連結財務KPI
キャピタル・リアロケーションプラン/株主還元
連結業績の推移
連結業績ハイライト
セグメント別業績の推移
財務状況
主要事業会社の概要
国内コンビニエンスストア事業
海外コンビニエンスストア事業
スーパーストア事業
百貨店・専門店事業
金融関連事業

株式情報を見る

株式情報

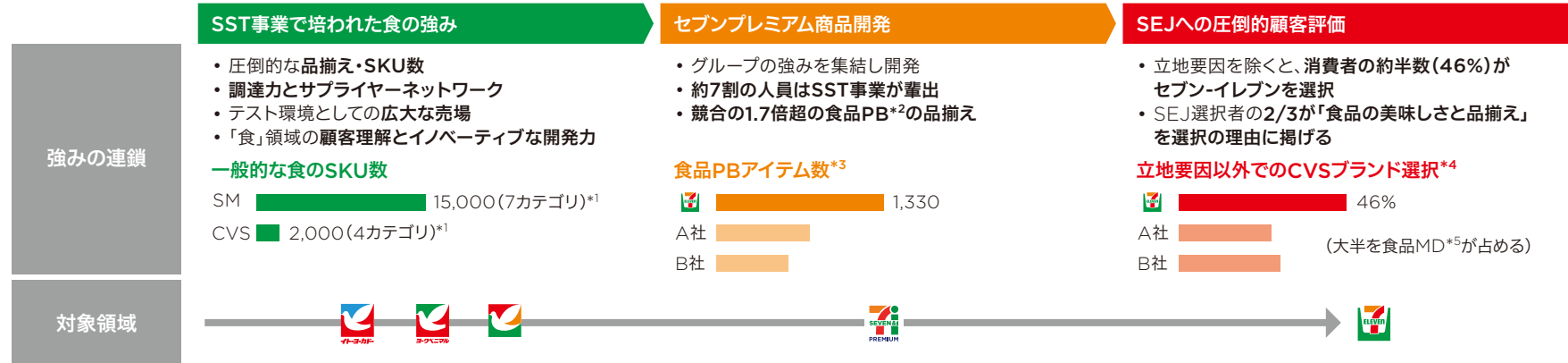
セブン&アイグループの歴史を見る

沿革

グループ重点戦略 ~「食」の強み~

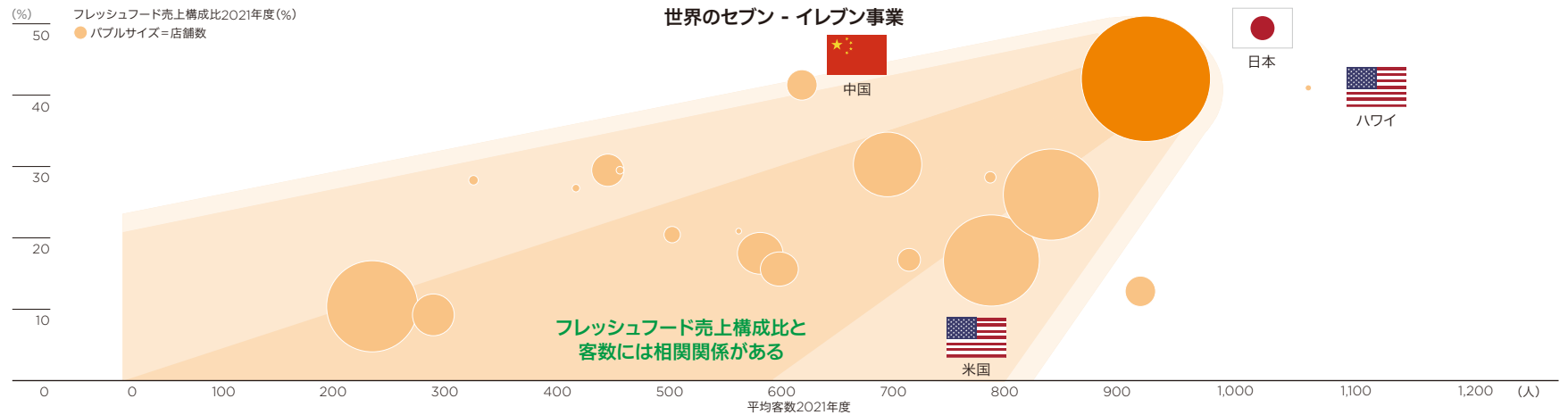
競争力の源泉となる「食」の強みの効果

グループリソースの共通化が「食」の強みを生み出し、SEJの競争力を下支え



*1 SM: 青果・精肉・鮮魚・デiyリー・加食・惣菜・ベーカリー、CVS: 青果・デiyリー・加食・惣菜 *2 PB: プライベートブランド *3 2022年6月時点の調査に基づく *4 2022年9月時点の調査に基づく *5 MD: マーチャングデザイン

「食」を軸としたグローバルCVS事業の成長戦略



「食」の強みは国内外CVS事業の成長実現の鍵となる